

はじめてみませんかKES ～希少植物の保全・再生活動にも貢献!～

特定非営利活動法人KES環境機構
専務理事

津村 昭夫

環境に関する様々な情報をお知らせするセミナー「京商ECOサロン」。ここでは、ちょっと気になる情報をお伝えします。

「持続可能な発展」のための国際的取り組みの一環として、1992年リオデジャネイロでの地球サミットにおいて、「気候変動枠組条約」と「生物多様性条約」の2つの条約が提起され、さまざまな取り組みが実施されてきました。

「気候変動枠組条約」… COP3：京都議定書

1997年12月採択、2005年 2月発効

「生物多様性条約」… COP10：名古屋議定書

2010年10月採択、2014年10月発効

この「持続可能な発展」への貢献のためのツールとして国際規格「ISO14001」が定められましたが、内容が複雑で審査料が高く、経営資源（人・物・金）の厳しい中小企業には負担が大きいという課題がありました。そこで、2001年に京都発の環境マネジメントシステムとして「シンプルで廉価な審査料」の「KES」がスタートし、その取り組みの成果として、事業所あたり年間約11tのCO₂削減効果を実現しました。（※1、2、3参照）

一方、生物多様性条約・名古屋議定書が2014年に発効されたことを受け、KESではCSR活動の一環として「京都の伝統的な祭りや文化を支えてきた生き物の保全・再生活動＝希少植物（絶滅危惧種等）の生息域外保全活動」に取り組むことになりました。

これは京都で1,000を超える「KES審査登録事業所」のネットワークを活かし、各事業所の取り組みは「点」であっても、ネットワークとして複数の事業所が取り組み、限りなく「面」に近づける「KESエコロジカルネットワーク（野生生物が生息・生育するさまざまな空間がつながる生態系のネットワーク）」として、2015年度は京都市内約100事業所に参加していただきました。

2016年度は対象を京都府域に拡大し、栽培種を増やし、また自社敷地内での緑化活動等を加え、さらに密度を高め、面積を広め「KESエコロジカルネットワーク」の意義を拡大していきます。

※本稿は、「京都市／京商ECOサロン／KES環境機構共同事業」として2月8日に開催した「環境マネジメントセミナー」での説明の要約です。

※1 KESの特色

KES（KES・環境マネジメントシステム・スタンダード）は、環境への負荷を管理・軽減するとともに環境経営の推進にも有効な仕組みです。

■取得にかかるコストが安く、わかりやすい。

企業や自治体・学校・家庭など、あらゆる規模・業種の組織で取り組みます。

■段階的に取り組める2つのステップがある。

環境問題に取り組み始めた段階を想定した**ステップ1**、将来「ISO14001」の認証取得を目指して取り組む段階で、「ISO14001」と同じような要求項目を設けた**ステップ2**があります。

■「持続可能な発展への貢献を最大化」を推進する2つの新規規格がある。

ステップ2SR（社会的責任）と**ステップ2En**（エネルギーマネジメント）規格。

※2 KESを審査・登録するメリット

1. 省エネ・省資源・リサイクルなどにより、コストダウンできる。
2. 環境にやさしい企業として認定され、取引等も有利になる。
3. 企業の社会的責任の証明になる。（特にステップ2SR）
4. 企業信用力が向上する。
5. 環境管理体系（PDCA）が経営管理にも応用できる。
6. 法規制順守に対応でき、環境リスクを回避できる。
7. 従業員の環境意識が高まる。

Kyoto＝京都

Environmental Management System＝環境マネジメントシステム
Standard＝スタンダード

京都議定書発祥の地、京都から発信された「環境マネジメントシステム」の規格です。

※3 1事業所あたり、年間約11tのCO₂削減効果

2001年から2015年10月までの間にKESを審査・登録し、電気、ガスなどエネルギーの効率的使用に取り組んだ1,343事業所（環境改善活動実績が1年以上あるもの）で、取り組み初年度1年間に削減されたCO₂の合計は、年間14,197tになります。1事業所あたり約10.6tの削減となります。（調査月2015年10月）

	電力削減	都市ガス	プロパン	ガソリン	灯油	重油
削減量	2,852万kWh	331千m ³	39トン	555kl	102kl	596kl
CO ₂	10,180トン	712トン	117トン	1,281トン	257トン	1,650トン
取組事業所数※	1,249	80	17	262	23	46

※複数の取り組みをしている事業所を含む。

詳細は、KES環境機構のホームページをご参照ください。 <http://www.keskyoto.org>

お問合せ 本所 産業振興部 TEL:075-212-6443 FAX:075-255-0428